



人類の発展と自然の共存

我々人類は文明社会の構築の過程の中で、多くの自然を破壊しながら現在の発展した時代を作り上げました。しかしその結果、地球温暖化により世界規模の災害が毎日のように何処かで起こる状況も作り上げてしまいました。そんな中で私たち、有限会社 BMJ 河辺処理センターと株式会社 BMJ は、公共工事から排出される伐採木や抜根を産業廃棄物として処理することにより発生した副産物を、パーク堆肥として再利用し「自然から出たものを自然に返す」をモットーに、やさしい地球環境づくりを進めています。人間が作り出した環境ストレスの解消に微力ながら貢献し、人類の発展と自然が共存できる世界を目指します。

専務取締役 小松田 允

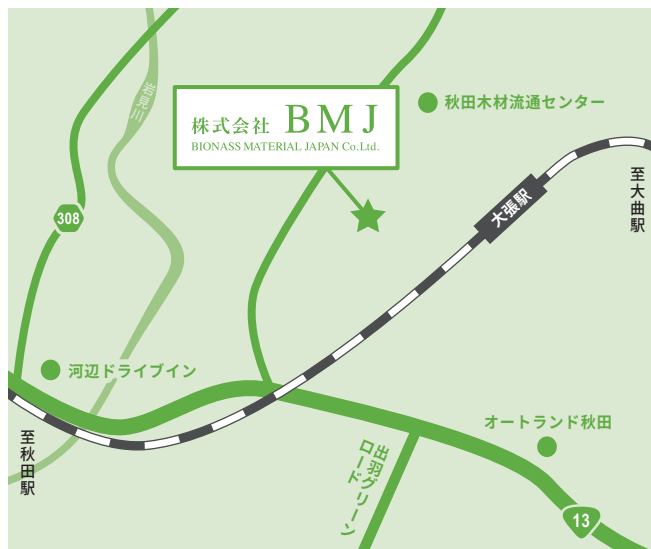


株式会社 BMJ について

会社名	株式会社 BMJ
所在地	秋田県秋田市河辺大張野宇水口沢 79 番地 2
代表取締役	加賀屋 雅紀
設立年月日	平成 23 年 2 月 1 日
事業内容	産業廃棄物の処理業務 堆肥製造及び販売
資本金	3,000,000 円
取引銀行	秋田銀行
従業員	4 人



● 周辺 MAP



COMPANY'S BROCHURE

株式会社 BMJ

BIONASS MATERIAL JAPAN Co. Ltd.



秋田エコソイルに関するさらに詳しい情報や、わかりやすい動画などは株式会社 BMJ のホームページにて紹介しています。こちらの QR コードを読み込むか、株式会社 BMJ で検索してみてください。



TEL:018-881-1238

マテリアルサイクルを推進します。

株式会社 BMJ では、伐採木の根株・枝葉といった通常であれば廃棄物処理されてしまう自然資源を利用したバーク堆肥などを生産しています。自然から恩恵を受けた資源を可能な限り活用し、次の自然資源を育てるための堆肥、あるいは、土木工事の基礎部分「大地と接する箇所」に使うチップにしています。自然から得られた資源を、人が作ったケミカルなどを使わない自然な状態で、また大地へ還す。自然とともに歩む私たちが理想とする自然と大地に重きをおいて、「マテリアル＝資源」が循環するサイクルをつくり、維持していくことが私たちの使命と考えます。



バーク肥料「秋田エコソイル」

「秋田エコソイル」は弊社のバーク堆肥の商品です。伐採木の樹皮、枝葉、根株等を堆肥にした製品となります。緑化基盤材や土壌改良材として広く活用されています。グリーン購入法特定調達品の指定、秋田県認定リサイクル製品としての認定を受けています。「秋田エコソイル」は、製造過程で化学薬品や肥料を使っておらず、自然のままに自然に戻すことのできる製品です。

バーク肥料とは

バーク堆肥は、主に樹皮を発酵させて作った有機質肥料ですが、その主な用途は、土を柔らかくし、養分・水分を蓄え、土壌の質を改善することに使われます。堆肥と名前がありますが、一般的な肥料のように土に養分を与えるのではなく、土を改良する土づくりが主目的ではないことに注意が必要です。このため、バーク堆肥を施した土壌には、必要に応じて肥料を併用するなどの対応が必要です。バーク堆肥の製造は発酵など自然の力を用いたもので、その使用には昔ながらの農家・農業従事者の方の経験などが大きく影響するものでもあります。逆に、化学薬品・化学肥料が少ない（秋田エコソイルは化学物質不使用）ため、具体的な数値に基づく使用方法に縛られないという特徴もあります。

なぜバーク堆肥を使うのか

バーク堆肥は自然の素材で樹皮・枝葉を発酵等のプロセスを経て堆肥化された大地への負担が少ない堆肥です。バーク堆肥を活用することで、これまで広く使われてきた化学肥料や化学物質を含んだ堆肥から脱却し、私たちを取り巻く自然の本来の姿と力を取り戻すことに寄与できることを目指しています。

秋田エコソイルの特徴

生木は、自然の状態に土に戻り、次の森へ育つためには、数十年という時間がかかります。秋田エコソイルの製造過程では、発酵など別の自然の力を借りることで、化学薬品や肥料を使わずにこの自然のサイクルを早め、大地に還り次の自然を育む堆肥の形になるまでを数ヶ月という短期間で実現することができています。



秋田県認定リサイクル製品とは？

県内の廃棄物の減量化とリサイクル関連産業の育成・活性化をはかるため、秋田発のリサイクル製品を知事が認定し、PRを行うなどしてリサイクル製品の利用を促進する「リサイクル製品認定制度」の認定を受けた製品のことで、2021年4月現在、認定されている製品は253製品となっています。

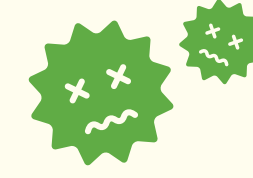
秋田エコソイルを使うメリット

植物の育成に最適な腐植土をつくります。



土の団粒化を促進し、肥料・栄養分を蓄え、植物が育ちやすい土壌をつくります。それに加えて保水性、透水性も高まるため、植物にとって大敵である乾燥からも守ることができます。

土壌からの病害の発生を抑制します。



有機物・有用な微生物を多く包含しており、土壌病害の発生を防止します。腐葉土などの他の肥料と比べて土が養分を蓄えられる容量が高いため、優れた保肥力向上効果が期待できます。

方法を問わず散布・投入が簡単。



堆肥の粒の大きさが均一化されているため、ムラになりにくく、人の手でも機械でも容易に散布・投入が可能です。また耐久性が強いため、効果が一般的な堆肥と比べてより長く持続します。

納品先一覧

- ・藤森地区 予防治山工事
- ・地方道路交付金工事（災害防除）
- ・急傾斜地崩壊対策工事
- ・大保田地区 治山施設機能強化工事
- ・市道仙翁台線道路災害復旧（30災152号）工事
- ・上中神地区 復旧治山工事
- ・岩淵地区 復旧治山工事
- ・県単一般治山工事
- ・馬生目地区 予防治山工事



- ・夏張地区 緊急機能強化・老朽化対策工事
- ・金山地区 予防治山工事
- ・前田地区 緊急機能強化・老朽化対策工事
- ・農林第17号県単局所防災治山工事

木から新たな木を、豊かな森を育てる。

人の力を介さず落ちたり倒れたりした木々は、数十年かけて朽ちて自然に戻り、次世代の命の源へと形を変えてゆきます。木材を生産する過程で残された、樹皮・枝葉・根なども同様です。これにかかる時間を、別の自然の力を借りることで短くすることができます。法規上は廃棄物になってしまう大切な資源を、自然の力を借りて、人にも自然にも無理なく、より効果的に、自然に帰すことができるのです。

自然の力を借りてできた堆肥は、次の世代の木を育てるための良質な土壌へ作って行きます。人が恩恵に預かる森は、人が手をかけ世話をしていくことでより良く育ちます。自然からできた堆肥などを使うことで、化学肥料・薬品などから脱却し、持続可能な社会と森へのサイクルが始まります。人が木を活用していく中でできたチップを使って、新たな目的のための土地の土台を作る。また、できた堆肥を使って次の森が育つ良質な土壌を作る。そしてそこから新たな木を、森を育てていきます。

